

## God With Us

Part 3: A King in place of THE KING.  
1<sup>st</sup> and 2<sup>nd</sup> Samuel

Message 15- David's Final Acts  
2 Samuel 21-24  
May 29, 2016

神は我らと共に  
パート3：王(神)に代わる王  
サムエル記第一・第二

メッセージ15ー ダビデが最後に行ったこと  
第二サムエル21-24章

### はじめに

聖書の中の最も重要人物の一人であり、神の御心の男「ダビデ王」の物語もいよいよ最終章となった。ダビデの物語は、聖霊様によって欠陥のある人間でさえも偉大なる神と親密な関係を持ち、神のご計画のために用いていただくことが出来るということを教えている。神は、お目的のために平凡な人間を用いて並外れた物事を達成される。ダビデの物語の最終章は、王の人生と働きの輝かしい最高潮を期待されているかもしれない。それどころか、ダビデは最後の最後までつまずき続ける。その中でも際立つものがあるとするれば、ことごとく憐み深い神のご性質である。神のダビデへの哀れみは、彼の人生の終わり、そして犠牲の祭壇まで宿る。

### ギベオン人の復讐： 21：1-14

ダビデの世に、年また年と三年、ききんがあったので、ダビデが主に尋ねたところ、主は言われた、「サウルとその家とに、血を流した罪がある。それはかつて彼がギベオンびとを殺したためである」。(21：1)

神は、私たちが誓ったこと、また、それらの誓いが破られたとき、私たちが保持すべき責任を忘れられることはない。400年程前、ヨシユアは先に神に問うことを怠り、ギベオン人と契約を結んでしまった(参照：ヨシユア記9章)。ヨシユアはギベオン人を決して倒さないと誓った。ヨシユアの後、約350年が経過し、サウル王はその誓いを破り、ギベオン人を破壊しようとした。そして今、ダビデがイスラエルを統治する中、イスラエルの人々はヨシユアの誓いのサウルの違反に対する責任を問われていた。

あなたは神に誓いをなすとき、それを果すことを延ばしてはならない。神は愚かな者を喜ばれないからである。あなたの誓ったことを必ず果せ。あなたが誓いをして、それを果さないよりは、むしろ誓いをしないほうがよい。あなたの口が、あなたに罪を犯させないようにせよ。また使者の前にそれは誤りであったと言ってはならない。どうして、神があなたの言葉を怒り、あなたの手のわざを滅ぼしてよかろうか。  
(伝道の章5：4-6)

三年の飢饉の後、ようやく、その飢饉と破られた誓いと因果関係についてダビデは告げられた。その結果、サウルの世帯から7人の息子たちが死刑のためにギベオン人の手に渡された。リツバ(サウルのめかけであり、二人の息子の母)は収穫シーズンの間、その七体の死体の上に天から雨が降るまで、昼は空の鳥が死体の上にこないようにし、夜は野の獣を近寄らせないよう保護することによって愛と勇気ある行動を示した(21：10)。その崇高な模範は、サウルとヨナタンとその兄弟たちのお骨を適切に埋葬できていなかったことをダビデに思い出させた。こうして、ダビデはサウルとその息子たちの残骸をサウルの父キシの墓に埋葬した。

神は、私たちの誓いのことばを真剣に受け止められる—結婚の誓い、ビジネスの契約、事務所にて一定の義務を果たすための誓い等。神の目には、時の経過によって誓いの効力が薄れることは無い。「神は長く待つことが出来るお方であることを決して忘れてはいけません。時は常に神の御手の内にあります。」（Beth Moore, *A Heart Like His*, p232）。じっくりと思い返してみましよう：今までに違反してしまった契約が無いでしょうか？神は、それらの契約違反のためにあなたの注意を引こうとしておられないでしょうか？もし、そうであるなら、3つのステップを踏むことが可能である： 1) 契約を破ってしまった罪を告白する。 2) 聖霊様に、あなたが契約を破棄してしまった深い問題が何であるかを明らかにしていただくよう尋ねましよう。 3) 神の助けによって、その契約を維持することに再びコミットする。

#### ジャイアントキラー： 21：15－22

ダビデの物語の初め、少年であったダビデが巨人のゴリアテを殺したときのことを思い出しましょう（第一サムエル記17章）。そして、ダビデの物語が終わりに近づく今、ゴリアテには4人の巨人の息子が存在し、その4人もまたダビデの勇士たちによって殺されていたことが明らかになる。古きからのライバル関係がペリシテ人の巨人とイスラエルの戦士たちの間に残っていた。

これらの四人はガテで巨人から生れた者であったが、ダビデの手とその家来たちの手に倒れた。（21：22）

イスラエルの英雄的な動きのすべてがダビデ王を中心に起こったわけではなかった。偉大な信仰と勇気を持って挑んだ勇

士たちとジャイアントキラーがたくさん存在した。Jim Collins 著書の「*Good to Great*」は、最大規模の組織は、たった一人の英雄の主導によるものではないということを明らかにするために多くの事例研究を用いている；むしろ、組織内での英雄的働きの多くは、あまり知られていない人たちの手柄であるということを開放し、祝い、力づけている。偉大な指導者たちは一人で全ての巨人を倒したりせず、勇士たちを招集して彼らを力づける。あなたは他のジャイアントキラーを力づけておられるでしょうか？あなたは、他の人の成果を祝っておられるでしょうか？それともあなたは一人で手柄を立てようとしておられるでしょうか？

#### ダビデの歌： 22：1－51（詩篇18と同様）

この「ダビデの歌」は、ヘブライ語の歌集、詩篇18篇でも見られ、ダビデの書いた詩篇の中でも最も重要視されている。その内容の殆どはダビデの人生の主要な出来事と神との歩みである。ダビデの生涯の最終章でも詩篇のこの箇所に特別な注意を払っている。

#### ダビデのリーダーシップを祝う歌： 23：1－7

この短い歌は、ダビデにイスラエルの王となる祝福が与えられたことを祝う詩である。その詩の心髄は神を恐れる指導者たちと指導されている者たちへの影響の描写である：

イスラエルの神は語られた、イスラエルの岩はわたしに言われた、『人を正しく治める者、神を恐れて、治める者は、朝の光のように、雲のない朝に、輝きでる太陽のように、地に

若草を芽ばえさせる雨のように人に臨む』。まことに、わが家はそのように、神と共にあるではないか。それは、神が、よろず備わって確かなとしえの契約をわたしと結ばれたからだ。どうして彼はわたしの救と願いを、皆なしとげられぬことがあるのか。（23：3－5）

あなたのリーダーシップが人々に及ぼしている影響についてじっくり考えてみましょう。あなたに続く人々の経験は輝く朝日を浴びてあちらこちらに噴き出す草の新芽と描写できるでしょうか？最後に彼らの口からあなたのリーダーシップの強さと弱さを語るよう促されたのはいつでしたでしょうか？あなたの「家」が祝福に満たされるために、あなたのリーダーシップのどこを向上させることが出来るでしょうか？

### ダビデの三人の勇士たち： 23：8－17

ダビデの全戦士の中でも特に3人の勇士たちは並外れ働きによって区別された：アディノとエレアザルとシャンマであった。彼らは具体的にダビデに忠誠を示した：

ダビデは、せつに望んで、「だれかベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水をわたしに飲ませてくれるとよいのだが」と言った。そこでその三人の勇士たちはペリシテびとの陣を突き通って、ベツレヘムの門のかたわらにある井戸の水を汲み取って、ダビデのもとに携えてきた。しかしダビデはそれを飲もうとはせず、主の前にそれを注いで、言った、「主よ、わたしは断じて飲むことをいたしません。いのちをかけて行った人々の血を、どうしてわたしは飲むことができまし

よう」。こうして彼はそれを飲もうとはしなかった。三勇士はこれらのことを行った。（23：15－17）

もし、ダビデがその水を飲んでいたら、この箇所は英雄崇拜とみなされたでしょう。そうでなく、ダビデはその供え物をダビデが成し遂げたこと全ての名誉と栄光に値し、ダビデに全ての勇士たちを与えてくださった唯一の主に捧げた。

### 30人の勇士たち： 23：18－39

30人の勇士たちが指導者と共につづられている。このリストで注意すべき点は：バテシバの夫（ダビデが殺した）ヘテ人のウリヤとバテシバの父であり、アヒトペルの息子であるエリアムである。ここで、バテシバが何者であるかを調べさせるためにダビデがつかいを送ったときの答えの説明がつく：ダビデは人をつかわしてその女のことを探らせたが、ある人は言った、「これはエリアムの娘で、ヘテびとウリヤの妻バテシバではありませんか」。（第二サムエル11：3）エリアムもウリヤもダビデが良く知っている身近な人たちであった。その上、バテシバの祖父であるアヒトペルは、ダビデの親しい友人であり、また顧問であった。ダビデが犯したバテシバとの罪は非常に親しい友人や彼に仕える者たちの重要なネットワークに関与し、背くものであった。

あなたを支えてくれる人々は誰でしょうか？戦いに挑むとき誰に呼びかけるのでしょうか？神のみことばを指し、あなたがぐらつかないように、共に祈ってくれる人々がいるということは重要である。あなたを支えてくれる人々の友情と支援の特権を当然と思っははいけません。

## ダビデ、軍隊を数える： 24：1－15

イスラエルの指導者たちの何人かは誇りの罪の犠牲となった。彼らは、これまでも自分たちの働きの偉大さを評価することを望み、そうすることによって（ヒゼキア第二列王記20：12－19； サウル第一サムエル15：12； アブサロム第二サムエル18：18）様々な方法で主に罪を犯した。ダビデもまた、彼の王国の偉大さを判断するために軍隊を数えた。ヨアブと軍の指揮官たちはダビデに思いとどませようとしたが、説得することができなかった。数えきるのに9か月と20日かかったので、その間、ダビデには罪を悔い改めるための期間が十分にあった。

あなたの人生で、必要な時には、言いにくいことでもはっきりと言ってくれる人がいるのでしょうか？あなたは、間違いを示してくれる人々の言葉を受け止めることができるのでしょうか？箴言は次のように教えている：**憎む者が口づけしてもてなすよりは、愛する者が傷つける方が真実である。（箴言27：6）** 真の友は、あなたが聞きたいことではなく、あなたが聞く必要があることを口にしてくれる。あなたは、友達からの叱責を聞く耳を持っているのでしょうか？

この罪には、ダビデと神とサタンが関与しているということが分かる。第二サムエルと第一歴代誌はそれぞれ異なる角度からこの件について見ていることに注意しましょう：

主は再びイスラエルに向かって怒りを発し、ダビデを感動して彼らに逆らわせ、「行ってイスラエルとユダとを数えよ」と言われた。（24：1）

時にサタンが起ってイスラエルに敵し、ダビデを動かしてイスラエルを数えさせようとした。（第一歴代誌21：1）

神は、決して私たちが罪に誘惑しようとはなさることはない（ヤコブの手紙1：13）。一方、時にサタンに神の子を誘惑することをお許しになる事はある（例：ヨブの事例）。ダビデの事例がそうであった。神は、サタンがダビデに軍隊を数えるよう誘惑することをお許しになった。神は、ダビデの内に光に照らされて対処されなくてはならない隠れた誇りが潜在していることをご存知であった。同時に、神は、いくつかの公開されていない国民全体の罪を統制する機会を求めておられた。（後に預言者たちは、イスラエルの具体的な罪の数々を明らかにする。）このように、神主権の目的はサタンとダビデの行動を相互に介して織られたのである。

神の御心も神のやり方も私たちに理解することは不可能である。人生の中で起こることは完全に理解できないことだらけである；それでも神の權威と知恵を信頼しなければならぬ。神は全てをご存知であり、神に失敗は無いからである。今の時点で、神が、あの時、イスラエルを戒められた理由は知らされていないが、その事実は知らされている。あなたは、神の道は「自分の道よりも高く」また、神の思いが「あなたの思いよりも高い」ということを認めておられるでしょうか？（イザヤ書55：9）

7年間の飢饉と3か月間の敵からの逃亡と3日間の疫病のいずれかの選択に迫られた際に、ダビデが3日間の免疫を選んだ理由は、神の哀れみを知っており、義であり憐み深い羊飼いによって規律を測定していただくことを何よりも望んだからである。

ダビデはガデに言った、「わたしはひじょうに悩んでいます  
が、主のあわれみは大きいゆえ、われわれを主の手に陥らせ  
てください。わたしを人の手には陥らせないでください」。  
(24:14)

神は義であられ、慈悲深くあられる。すべての状況において  
正義と慈悲を完璧にバランス良く混ぜ合わせる方法をご存知  
であられるのは神のみであるので、継続して神を知る人間へ  
と成長する必要がある。ダビデはどういう結果へと導かれよ  
うが、神の御手を望むということが最善の選択であるという  
ことを教えてくれている。神のご性質は私たちの信頼に値す  
る。

#### ダビデ、祭壇を築く： 24:16-25

3日間の疫病はイスラエルに70,000人の死者をもたらした。  
天の使いがエルサレムの上、より具体的にはアラウナの打ち  
場の上に滅ぼそうと上昇したとき、神が使の手を止められ  
た。

天の使が手をエルサレムに伸べてこれを滅ぼそうとしたが、  
主はこの害悪を悔い、民を滅ぼしている天の使に言われた、  
「もはや、じゅうぶんである。今あなたの手をとどめるがよ  
い」。その時、主の使はエブスびとアラウナの打ち場のかた  
わらにいた。(24:16)

ここにはイスラエルの破壊を悲しまれる神の憐み以上の意味  
がある。イスラエルの歴史を振り返り、アブラハムとイサク  
の物語にさかのぼり、アブラハムがたった一人の息子を祭壇

に供え、殺そうと手を上げた瞬間を思い出しましょう(創世  
記22:10-12)。その瞬間、神の声がアブラハムの手  
を止めた。神がアブラハムの手を止めた場所は、正に、イス  
ラエルを破壊しようとした使いの手を神が止められた場所そ  
のものであった—エルサレムのモリア山。

神は、父親がたった一人の息子の命を進んで犠牲に捧げよう  
とした記憶に動かされたのでしょうか？アブラハムとイサク  
のために、神は捧げものの身代わりのための近くの茂みに引  
っかかった子羊を備えてくださった。アブラハムはその捧げ  
ものを神に供えた。

神は更に、おなじエルサレムの町で、ご自身の御子がいつか  
世の罪のための犠牲の身代わりとなられ死なれるという事実  
によって動かされたのでしょうか？神はご自身の義なる御手  
を御子のために下されない。神は世の罪のために御子をほふ  
られたのです。

ダビデはアラウナから打ち場を買い取り、そこに祭壇を築い  
た。後に、ソロモンが神殿を建てる地となり、罪人のために  
神の憐みが表されるために犠牲の身代わりが絶え間なく捧げ  
られる場所となる。

神が悲しみ哀れんでくださったはずである。エルサレムのモ  
リア山はイスラエルの歴史の中で最も重要な地理的な場所  
である。なぜなら、聖なる神が人類の罪を悲しまれたことによ  
って罪を取り除き神との関係を修復するための犠牲を備えて  
くださるよう神の心を動かされる真理を予兆する場所であつ  
たからである。モリア山=神の慈悲！